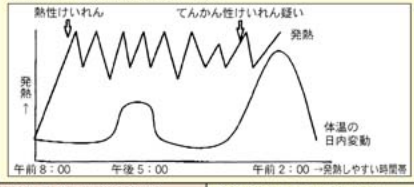
保健センターだより

きてみてMAMAさん 講演会

10月14日（木）“きてみてMAMAさん講演会”「乳幼児の救急対応について」～日頃の体調をみるポイント～と題して，細木小児科院長　細木宣男先生にご講演いただきました。内容をまとめましたので，これからの健康管理に役立てましょう。

症　状	特　　徴	緊急受診を要する時
①発熱	…発熱：37.5℃以上をいう （37.4℃以下は平熱） ☆熱さまし…けいれんを誘発しやすい 座　薬：効果が早いが，３～５時間で切れ急速な熱発しやすい →けいれんを誘発しやすい 経口薬：効果はゆっくりだが体の負担は少なく，けいれんの誘発も少ない →アセトアミノフェン（安全） ・嘔吐 ・けいれん ・顔色悪い ⇒**※すぐ受診** ※熱性けいれんは④を参照ください ※〈発熱とけいれんのパターン〉  	
②吐く	…生理的なもの・病的なものの見分けが必要（※できるだけ水分補給を） １）生理的嘔吐⇒母乳等の飲み過ぎ／体位性のもの　頻回でない，機嫌が良い／体重減少なし ２）病的なもの ・幽門狭窄症⇒症状・噴水性の嘔吐，　治療：手術＞内服 （※生後１カ月の男児に多い） ・胃・食道逆流⇒頻度高い（体位に留意） ・腸重積⇒症状：痛みで泣く（間欠性啼泣）・血便 治療：発病して**24時間以内なら手術不要** ・虫垂炎⇒お臍の周りから痛い（自家中毒と間違え易い） （※６歳未満は診断が困難） ・胃腸管の炎症⇒ロタウイルスA型：下痢 ロタウイルスB型：嘔吐のみ ・脳内出血・脳炎・脳腫瘍・**髄膜炎（熱＋嘔吐）時間を争う** 	①急激な２～３回の嘔吐 ⇒**救急受診**（熱の有無に関わらず） ※脱水の恐れのため ②呼吸困難 ⇒吸う時：クループ症候群（声のかすれ・犬のような鳴き声） ※呼吸困難がなければ様子をみましょう ⇒はく時：気管支炎・喘息 ③異物を飲み込んだ時 ⇒**吸引しながら救急受診**
③下痢	…緊急性はない	**※血便の場合は早期に受診** （O-157等疑い）
④熱性けいれん	…38℃以上の時に起きるけいれん（38℃以下でのけいれんは，熱性でない） 〈普通の熱性けいれんの特徴〉 ①15分以内のけいれん ②両側性に起きる ③１日１回のみ ④けいれん後に麻酔がない 以外は⇒**複雑性熱性けいれん** **※必ず脳波検査を** 〈熱性けいれんの流れ〉 １）硬直性けいれん）…（何分①） （両手を引き付け，えび反り，白目） ２）関代性けいれん（ピクピク）…（何分②） ３）大きい息・応答・笑顔 ⇒５分以内（８割） ☆けいれんが起きたらどうする？ １）時計を見る　→①②の時間を計る ２）仰向けに寝かせる　→全身観察（両側性か否か） ３）手を出さずじっと見ておく→抱いたり，抑えたりしない ☆予防…38℃以上で起こす恐れがあれば，経口熱さまし（ダイアップ） 	**※５分以上続く場合，救急車で受診のこと** ※５分以内で治まっても，**初回であればすぐ受診** （脳炎・髄膜炎の先駆症状でないか見分けるため） ※熱性けいれんで舌を噛むことはない （てんかん大発作のみ）
⑤頭部打撲	…打撲の強度とは関係ない（※打ち所） 状況：①打った後すぐ泣く（※少しボーっとし思い出したように泣く） ②コブができている（内部障害はほぼ無いと考える） **24時間経過観察すること**⇒※24時間何も無ければ心配なし	・嘔吐繰り返す ・けいれん ・意識消失 ⇒**すぐ受診**